

【平成 27 年度(2015 年度)】

1. 研修会・講演会

① 主催・共催

福井県高次脳機能障害リハビリテーション講習会

開催日	開催場所	内容・演題名	講演者・発表者	参加者数
2015. 7. 12(日)	福井医療短期大学 2F 江上ホール	講演① 「高次脳機能障害支援コーディネーターとしての2年を振り返って」 講演② 「明日を信じて」 座長	講演① 福井県高次脳機能障害支援センター コーディネーター 中島 裕也 講演② 「暗闇の彼方に 高次脳機能障害との闘い」 著者・当事者家族 岡野 琴子 氏 福井総合クリニック 理学療法士 堀江 仁志	94 名

高次脳機能障害セミナー

開催日	開催場所	内容・演題名	講演者・発表者	参加者数
2015. 11. 14(土)	国際交流会館	特別講演 「半側空間無視と関連の障害について」 講演 「半側空間無視の病識改善に対する試み」 座長	札幌医科大学医学部 リハビリテーション医学講座 教授 石合 純夫 先生 福井医療短期大学 リハビリテーション学科 作業療法学専攻 講師 川端 香 福井総合病院 リハビリテーション科 部長 小林 康孝 先生	100 名

高次脳機能障害教室

開催日	開催場所	内容・演題名	講演者・発表者	参加者数
2015. 4. 9(木)	福井総合病院 4 階食堂	「高次脳機能障害支援センターの取り組み」	城鼻 一江	11 名
2015. 5. 24(日)	福井総合クリニック 6F 大ホール	「高次脳機能障害とは？」	中島 裕也	53 名

2015. 6. 11(木)	福井総合病院 4階食堂	「注意障害とその対処法」	高橋 宣弘	27名
2015. 7. 26(日)	福井市研修センター	「高次脳機能障害～障害者手帳・障害年金わたしは申請できるの?～」	中島 裕也	17名
2015. 8. 13(木)	福井総合病院 4階食堂	「記憶障害とその対処法」	山口 奈央	22名
2015. 9. 27(日)	福井市研修センター	「高次脳機能障害者への就労支援」	大嶋 康介	20名
2015. 10. 8(木)	福井総合病院 4階食堂	「遂行機能障害とその対処法」	谷原 直樹	19名
2015. 11. 22(日)	福井市研修センター	「成年後見制度」	柳瀬 智美	1名
2015. 12. 10(木)	福井総合病院 4階食堂	「社会的行動障害とその対処法」	田中 真弓	21名
2016. 1. 24(日)	福井市研修センター	「高次脳機能障害～自動車運転について～」	高間 千晶	10名
2016. 2. 18(木)	福井総合病院 4階食堂	「高次脳機能障害～家族にできること～」	川端 香	15名
2016. 3. 27(日)	福井市研修センター	「高次脳機能障害者の集団リハビリテーション」	橋本 志保理	12名

高次脳機能障害関係者研修

開催日	開催場所	内容・演題名	講演者・発表者	参加者数
2015. 7. 12(日)	福井医療短期大学 5階講堂	講演「高次脳機能障害の長期支援」	神奈川県総合リハビリテーションセンター 神奈川リハビリテーション病院 医療福祉総合相談室 高次脳機能障害支援コーディネーター 瀧澤 学 氏	83名

②外部からの依頼講演、勉強会

開催日	開催場所	内容・演題名	講演者・発表者	参加者数
2015. 5. 17(日)	福井市内	福井県作業療法士会学術部研修会 「高次脳機能障害に向き合う～治療の先、包括的支援を考える～」	中島 裕也	
2015. 6. 14(日)	畿央大学	畿央大学ニューロリハビリテーションセミナー 「言語の神経機構」	河村民平	
2015. 10. 7(水)	福井市内	協和発酵キリン社内勉強会 「パーキンソン病のリハビリテーション」	小林 康孝	
2015. 11. 28(土)	福井医療短期大学	コミュニケーションサポーター講習会(失語症編) 「失語症の障害メカニズムと当事者との関わり方」	河村民平	
2016. 1. 23(土)	越前市内	福井県訪問リハビリテーション実務者研修会 「高次脳機能障害に対する治療ではない支援という考え方」	中島 裕也	
2016. 3. 3(木)	福井市内	日常生活自立支援事業専門員研修会 「高次脳機能障害に対する支援」	中島 裕也	

2016.3.4(金)	福井市内	武田薬品社内勉強会 「高次脳機能障害」	小林 康孝	
-------------	------	------------------------	-------	--

② 院内勉強会

高次脳機能障害勉強会

開催日時	内容	発表者	参加人数
5月18日	[英文抄読]Symbolic gestures and spoken language are processed by common neural system	ST 河村民平	9
	[プレ発表] 視覚性ワーキングメモリ課題による前頭前野の脳内血流行動態変化—近赤外分光法 (NIRS) による検討—	OT 川端香	
6月1日	[英文抄読]Body ownership and attention in the mirror:Insights from somatoparaphrenia and the rubber hand illusion	PT 城鼻一江	14
	注意障害のリハビリテーション	PT 堀江仁志	
6月15日	[伝達講習]高次脳機能障害者の就労定着支援	OT 田中真弓	10
	Mirror Writing	ST 谷原直樹	
6月29日	[英文抄読]Video-game-based group therapy to improve self-awareness and social skills after traumatic brain injury	OT 橋本志保理	9
	重度片麻痺と高次脳機能障害併発症例に対する復職支援—症例の比較検討—	OT 中島裕也	
7月13日	[英文抄読]Mirror therapy in Unilateral Neglect After Stroke(MUST trial)A randomized controlled trial	OT 増田彩乃	8
	[英文抄読]The Frontal Assessment (FAB) in Parkinson's disease and correlations with formal measures of executive functioning	OT 松井政幸	
7月27日	視覚認知のメカニズム	ST 富澤俊介	10
	[英文抄読]Interindividual uniformity and variety of the "Writing center":a functional MRI study	ST 高橋宣弘	
8月3日	脳損傷者の時間認知障害	OT 密山晃代	9
	社会的行動障害・リハビリテーションと対応	OT 大嶋康介	
8月17日	[症例報告]左半側空間無視患者の Awareness 獲得に向けた介入の試み	OT 川端香	12
	脳外傷者による展望記憶	OT 岩本智代	
8月31日	[英文抄読]Spatiotemporal neural network dynamics for the processing of dynamic facial expressions	ST 河村民平	7
	[英文抄読]STIMA a short screening test for ideo-motor apraxia,selective for action meaning and bodily district	PT 城鼻一江	
9月14日	[英文抄読]The protocol and design of a randomized controlled study on training of attention within the first year after acquired brain injury	OT 田中真弓	11
	復学支援	PT 堀江仁志	

9月28日	非利き手使用が検査結果に与える影響について	ST 谷原直樹	7
	頭部外傷のリハビリテーションにおける気づきと補填	OT 中島裕也	
10月5日	[症例報告]MTDLPを使用し代償手段獲得に向け支援を行った症例—高次脳機能障害患者に対する MTDLP—	OT 橋本志保理	10
	身体図式について—脳内活動から臨床症状を分析—	OT 密山晃代	
10月19日	[研究発表]FABは前頭葉機能を反映するか？—NIRSを用いて—	OT 松井政幸	7
	[研究計画]左右の手での書字中の脳血流の相違—fNIRS研究—	ST 高橋宣弘	
11月2日	脳梁梨段による高次脳機能障害	ST 富澤俊介	7
	脳卒中後うつとアパシー	OT 牧野彩乃	
11月16日	病院で行う高次脳機能障害リハビリテーション	OT 大嶋康介	9
	調理と脳機能	OT 岩本智代	
11月30日	タイトル不明	ST 河村民平	11
12月7日	Association of cognitive domains with postural instability/gait disturbance in Parkinson's disease	PT 城鼻一江	12
	高次脳機能障害と運動	PT 堀江仁志	
12月21日	[症例報告]社会復帰を望む社会的行動障害に対して、PCRSを基に介入した一例	OT 牧野岳洋	8
1月18日	高次脳機能障害に対する治療でない支援という考え方	OT 中島裕也	9
	[症例報告]環境調整により食事動作が改善した高次脳機能障害例	OT 山口美帆	
2月1日	[伝達講習]高次脳機能障害者を取り巻く現状 連続したケアを目指して	OT 橋本志保理	8
2月15日	Writing errors as a result of frontal dysfunction in Japanese patients with amyotrophic sclerosis	ST 高橋宣弘	6
	運動制御障害とギャンブリング課題	ST 富澤俊介	
3月14日	タイトル不明	OT 牧野彩乃	9
	到達把持運動と高次脳機能障害	OT 密山晃代	
3月28日	半側空間無視を考える	OT 岩本智代	8
	[研究発表]FABは前頭葉機能を反映するのか？その2—NIRSを用いて—	OT 松井政幸	
	視床と高次脳機能障害	ST 谷原直樹	

2. 講習会・学会等への参加

①発表・座長

開催日	開催場所	内容・演題名	講演者・ 発表者・共同演者	
2015.5.8(金)		パーキンソン病治療を考える「当院におけるニュープロパッチの使用経験からの考察」	高野誠一郎 小林康孝(座長)	
2015/5/14(木)		福井脳・神経疾患談話会「ヘルペス脳炎後の診断・治療における動向」	亀井聡 小林康孝(座長)	

2015. 5. 20(水) ～23(土)	新潟	第56回日本神経学会学術大会 「視覚性ワーキングメモリ課題による前頭前野の脳内血行動態変化～近赤外分光法(NIRS)による検討～」	川端香、高間千晶、 酒井浩、小林康孝	
2015. 5. 28(木) ～30(土)	新潟	第52回日本リハビリテーション医学会学術集会 「高次脳機能障害者に対する集団リハビリテーションの帰結と要因の検討」	大嶋康介、橋本志保理、 高岡由華 中島裕也、 田中真弓、小林康孝	
2015. 6	仙台	第16回日本言語聴覚学会 「幼少期に利き手の矯正をした中等度失語症者に対するTMSおよび集中的言語聴覚療法の効果について」	河村民平	
2015. 7. 13(月)		生活習慣病と認知症について考える「糖尿病合併症としての認知症」	羽生春男 小林康孝(座長)	
2015. 10. 25(日)	福井医療短期大学 体育館	第18回センターフォーラム 「FAB(Frontal assessment battery)は前頭葉機能を反映するか?近赤外線分光イメージング装置(NIRS)を用いて」	松井政幸、川端香、 小林康孝	
2015. 10. 25(日)	福井医療短期大学 体育館	第18回センターフォーラム 「視覚性ワーキングメモリ課題による前頭前野の脳内血行動態変化～近赤外分光法(NIRS)による検討～」	川端香、高間千晶、 酒井浩、小林康孝	
2015. 12. 4(金)	福井市内	PD Work Shop in Fukui 「パーキンソン病患者の表情認知について～fNIRSを用いた検討～」	小林康孝	
2015. 12. 10(木) ～11(金)	東京	第39回日本高次脳機能障害学会学術総会 「『意味のある作業』を用いた介入により無視症状と病識に改善がみられた慢性期半側空間無視例」	川端香、酒井浩、 橋本志保理、小林康孝、 寶珠山稔	
2015. 12. 10(木) ～11(金)	東京	第39回日本高次脳機能障害学会学術総会 「パーキンソン病の社会的認知障害(表情認知)についての検討—fNIRS研究—」	河村民平	
2016. 2. 7(日)	福井医療短期大学 江上ホール	第9回新田塚医療福祉センター リハ・ケア研究会 「重度片麻痺と高次脳機能障害併発症例に対する復職支援」 「Catherine Bergego Scale 日本版により 半側空間無視が明らかになった一例」	中島裕也、小林康孝 山口美帆、牧野彩乃 大嶋康介、宇野初二	

②論文発表

発行日	雑誌名	題名	著者	ページ
2015年	臨床神経	右後大脳動脈領域梗塞により同時失認と街並失認を来した1例	小林康孝、村松倫子、 佐藤万美子、林広美、 三浦豊章	p722-727
2015年	言語聴覚研究	ウェルニッケ失語からの回復経過において音韻性失名詞の臨床像を呈した1例	富田浩生、前川香苗、 山内里紗、河村民平、 小林康孝	12巻 (2)p78-86
2015年	新田塚医療福祉センター 雑誌	脳梗塞により Anton 症候群を呈した事例に対するリハビリテーション	川端香、中西真莉奈、 小林康孝	Voi. 11 P41-46

2015年	福井医療科学雑誌	重度高次脳機能障害患者に生活行為向上マネジメントを試み意欲向上とともに機能訓練の拒否が少なくなった一例	密山晃代、田中真弓、佐藤万美子	Voi. 12 P69-73
2016年	福井医療科学雑誌	パーキンソン病の社会的認知障害(表情認知)に関する検討— fNIRS 研究—	河村民平、高橋宣弘、新谷純、山口琴音、林広美、小林康孝	Voi. 12 P43-46
2016年	福井医療科学雑誌	ステージ-の異なる Word Fluency Task 時の脳活動と Working Memory 容量の個人差の関係— fMRI 研究—	河村民平、高橋宣弘、新谷純、保屋野健悟、村田里佳、堀江慶一郎、小林康孝	Voi. 12 P13-18

③参加・受講

開催日	開催場所	会議名	参加者	
2015. 8. 30 (土)	富山県	富山県高次脳機能障害関係者研修・リハビリテーション講習会	中島裕也、山内里紗、高岡 由香	
2015. 10. 8 (木) ～10(土)	国立障害者リハビリテーションセンター	作業療法士研修	橋本志保理	